



よい朝のために。

KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES

統合報告書 2026



顧客第一を会社の心とする

ホスピタリティで選ばれる企業であり続けたい。

その一心で、私たちは創業以来、「顧客第一を会社の心とする」という社訓の実践を徹底してきました。

お客様と同じ目線に立って、考え抜く。

どうすれば、もっと喜んでいただけるだろうか。

お客様の笑顔を創造するためなら、
とことん、本気になれる集団が「共立メンテナンス」です。

親代わりになるという「学生寮」の運営を皮切りに
お客様のニーズ、すなわち社会のニーズにお応えするため、
私たちは、寮事業、ホテル事業、シニアライフ事業と
多角的に事業を展開してきました。

すべての事業に共通するのは、食と住を通じたソリューションで、
お客様のライフステージの一コマに、「安心」と「癒やし」を提供し続ける姿勢です。

創業以来、受け継がれてきた「心」

経営理念

顧客第一を会社の心とする

- 一、感謝し、感謝されること
- 一、英知を集め、サービスの向上に努めること
- 一、繁栄を願い、あわせて共益をはかること

行動指針

- 一、技能を修得し、知識と礼節を身につけること
- 一、相手の立場になって考え、行動し、信頼を得ること
- 一、自己の行動に妥協を許さず、常に啓発と革新をはかること

経営方針

食と住のサービスを通じ、広く社会の発展に寄与する

- 一、「人こそ要」 人材の育成を百年の計とする
- 一、「変化こそ不変」時流をとらえ、即時即断、
変化適応の経営システムを確立する
- 一、「業績こそ焦点」目標を効率的に定め、明示し、成果は還元する
- 一、「自然こそ原理」全体と個、理想と現実、調和を図り、成長する
- 一、「存続こそ使命」信用を蓄積し、社会に応える企業文化を構築する

Contents 「統合報告書2026」

本報告書でお伝えしたいこと

当社は、「顧客第一」を原点に、お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様との共生を図り、社会課題の解決を通じて企業価値を持続的に高めることを目指しています。

本報告書では、中期経営計画「Rise Up Plan 2028」を軸に、持続的な成長に向けた戦略に加え、その実現を支える「食へのこだわり」「人の力」「独自の開発力」という当社ならではの強みに焦点を当てました。これらの強みがどのように社会的価値と経済的価値の創出につながり、持続的な価値創造を支えているのかをお伝えいたします。

本報告書をご一読いただくことで、当社へのご理解を深めていただくとともに、皆様とのより建設的な対話につながることを願っております。

イントロダクション

創業から受け継ぐ企業文化	P1
目次	P2
編集方針と開示メディア	P3
At a Glance	P4

企業価値向上の 取り組み

トップメッセージ	P5
共立メンテナンスのあゆみ～原点～	P11
培ってきた強み	P12
食へのこだわり	P14
人の力	P17
独自の開発力	P21
価値創造プロセス	P24
経営資本	P25
財務戦略 CFOメッセージ	P26
長期ビジョン・中期経営計画	P30

成長性向上の取り組み 利益率向上の取り組み

寮事業	P33
シニアライフ事業	P35
ドーマーイン事業	P37
リゾート事業	P39

資本コスト低減の 取り組み

ステークホルダーエンゲージメント	P41
サステナビリティマネジメント	P42
マテリアリティ	P43
環境	P44
ガバナンス	P48
社外取締役座談会	P52
役員一覧および取締役の選任理由	P56
取締役会のスキル・取締役のトレーニング	P57
コンプライアンス	P58
リスクマネジメント	P59

データ編

財務ハイライト	P60
非財務ハイライト	P61
企業情報	P62
グループ会社情報	P63

よい朝のために。

● 編集方針と開示メディア

編集方針

本報告書は、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に、当社グループの経営戦略、業績、サステナビリティへの取り組みを統合的にご理解いただくことを目的に、前年度の実績および今後の展望をお伝えするものです。

編集にあたっては、IFRS財団が提唱する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省が提唱する「価値協創のための統合的开示・対話ガイダンス」等を参照しています。

報告対象組織

株式会社共立メンテナンスおよびグループ会社

報告対象期間

2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)

※一部2026年度の活動も含む

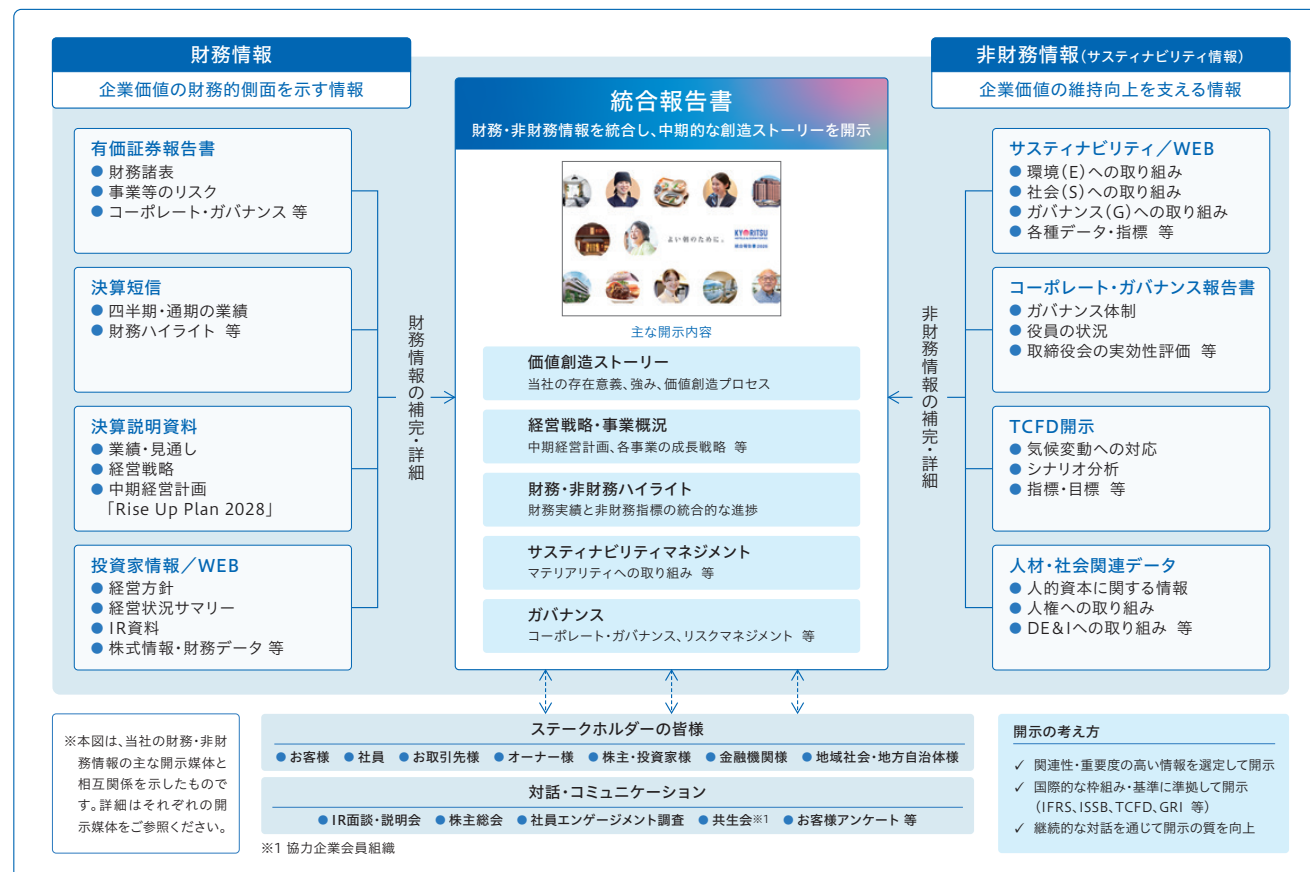
発行日

2026年10月

見通しに関する 注意事項

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本報告書の発行日現在において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、当社の現在の計画、戦略、業績見通し等、既存の事実でない内容は、将来に関する見通しであり、実際の業績等はさまざまな要因により異なる可能性があります。

情報開示体系図



当社では、左記の通り統合報告書をはじめとしたさまざまな媒体で情報開示を行っています。統合報告書では掲載しきれないより網羅性の高い情報や関連資料は、以下のQRコードまたはURLよりご確認いただけます。統合報告書と併せてご活用いただくことで、当社の事業活動や戦略、サステナビリティへの取り組み等について、より一層ご理解いただければ幸いです。

WEBサイトのご案内

投資家情報

<https://www.kyoritsugroup.co.jp/ir/>



サステナビリティ

<https://www.kyoritsugroup.co.jp/sustainability/>



At a Glance

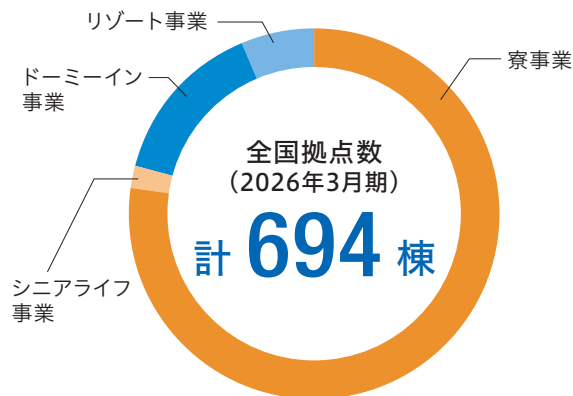
数字で見る共立メンテナンス

創業 1979年9月27日

■共立メンテナンス単体の数値です
(2026年3月末時点)

事業規模

事業セグメント

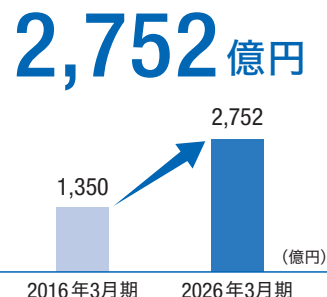


● 寮事業※1	● シニアライフ事業
536 棟 (46,147室)	15 棟 (1,002室)
● ドーミーイン事業	● リゾート事業
100 棟 (17,814室)	43 棟 (4,476室)

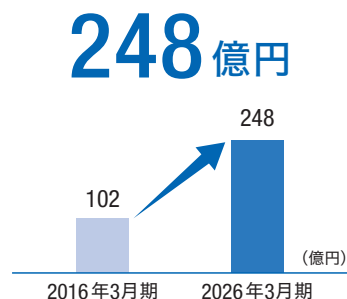
※1 2026年4月1日時点

財務情報※2

売上高



営業利益



※2 共立メンテナンスグループ連結決算

非財務情報

社員数※3

18,399 名

※3 共立メンテナンスグループの正社員・契約社員・パート社員含む

正社員採用数

新卒※4 330 名 中途 272 名

※4 2026年4月1日時点

食事提供数

寮事業	585.8 万食/年
シニアライフ事業	79.5 万食/年
ドーミーイン事業※5	371.5 万名/年
リゾート事業※6	359 万名/年
夜鳴きそば提供数	422.7 万食/年

※5 朝食利用者数 ※6 タ・朝食利用者数

提携学校数

1,766 校

大学・短大	605 校
専門学校	630 校
予備校	116 校
その他	415 校

ホテル宿泊者数

1,031.1 万名
ドーミーイン 7,784,553 名
共立リゾート 2,526,957 名

Dormy's会員数

201 万名

E (環境)

GHG排出量 171,807 t-CO₂

水の使用量 673 万m³

S (社会)

女性管理職比率 20.1 %

外国籍社員比率 4.9 %

平均勤続年数 6.3 年

G (ガバナンス)

社外取締役比率 35.3 %

女性取締役比率 11.8 %